



町民投稿

園の庭 つくしんぼうの 背くらべ(眞子)

2017.4

No.135

松川町議会です

シリーズ「えがお」



特集

くらしはどう変わる?! 今年度予算
提言に向けて議員力を磨く

3ページ

8ページ

11議員が“思い”をぶつける 一般質問 13ページ

財政の健全性と適正な行政水準

議会初!! 修正動議可決 平成28年度補正予算

修正動議

提出者

黒澤哲郎、間瀬重男
熊谷宗明、佐藤史人

今回の補正予算は財政調整基金などへの歳出で、今年9月に出る平成28年度決算の実質収支が1億円分減ることになる。これは、町の財政指標の数字が変わることになり、総合的にバランスを考えた予算編成に支障が出ると思われる。決算の実質収支比率は非常に大事な指標だ。この決算指標を見て、きちつと反省と分析を行い、当初予算を組んでいく。積み立てを半年待つて9

討論

賛成 熊谷宗明

スタートの段階で予備費が思うように持てない。結局9月の繰り越しを当てにしてそこに戻すことになり、補正が頻発する要因とな

月の決算を見て積み立てても何ら問題がないはずだ。一般的に当町の財政規模で言えば、財政調整基金6億円、8億円程度でも何ら問題ない。住民にとつては当初予算を、これだけ使ったという方が分かり易い。いま、補正で積み立てを行うことは決算指標を意図的に操作することになる。

賛成 佐藤史人

今残っている不用額を積み立てるのではなく、予備費の中に入れておけば、29年度の予算の中に計上されなかつた分の事業の準備ができるのではないかと賛成する。

賛成 間瀬重男

貯蓄は反対ではないが不用額というものの流れがよく分からなくなるので、修正動議に賛成である。

反対 米山俊孝

財政運営を任せたい上、その執行権は執行者にある。大きくこの内容によって町の財政が、変化するということはないので修正の必要はない。

反対 島田弘美

問題は単年度収支である。黒字が数千円であれば、当町の財政規模からいってこの水準であればの判断から、修正動議は必要ない。

反対 中平文夫

最初の予算を立てるときに削られた事業のなかで、何が大事であるか、予定しておいてそれを少しでも、実行する。そういうような姿勢を見せていただきたい。それが条件で修正案に反対である。

頻発する補正

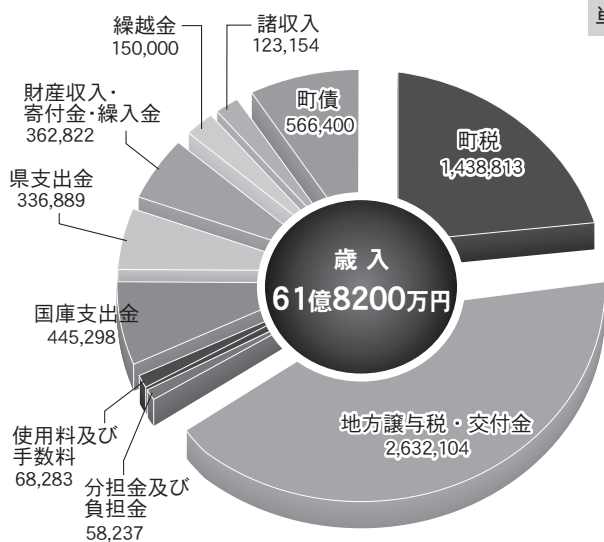
平成28年度一般会計予算の補正 (H28.4.1~H29.3.31)

(単位:千円)

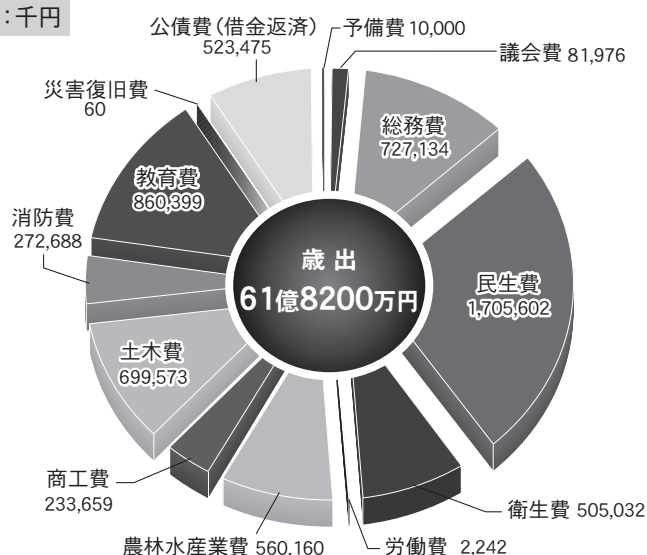
科目	H28年度予算	第1回	第2回	第7回	今回第8回	修正後
議会費	80,075	80,075	80,075	81,343	80,253	80,253
総務費	691,324	697,287	697,287	818,758	935,727	835,727
民生費	1,655,806	1,657,292	1,657,292	1,760,422	1,715,366	1,715,366
衛生費	532,905	532,905	532,905	527,250	518,904	518,904
労働費	1,116	2,116	2,116	2,116	2,116	2,116
農林水産業費	637,167	641,099	644,899	606,760	597,545	597,545
商工費	223,677	226,177	226,177	235,359	222,409	222,409
土木費	938,761	939,080	939,080	929,584	888,834	888,834
消防費	262,954	269,314	270,259	275,996	275,996	275,996
教育費	790,922	795,278	795,278	823,737	836,589	836,589
災害復旧費	120	120	120	10,101	10,101	10,101
公債費	555,173	555,173	555,173	605,173	600,673	600,673
予備費	10,000	10,000	5,255	111,051	77,363	177,363
歳出合計	6,380,000	6,405,916	6,405,916	6,787,650	6,761,876	6,761,876

平成29年度 問う、3本柱からの予算配分

歳入



歳出



住民福祉の 向上策は

(問) 高齢化率が進むなかで最重要が福祉であり介護保険を中心とした施策が必要である。高齢者施策という問題についてどのような考えを持っているのか。

(町長) 地域包括ケアシステムの一層の推進を図り、介護予防認知症対策に大きく取り組んでいく。

(担当課) 医療、介護予防、生活支援を一体的に提供していく。認知症予防については、3月から4月中旬に、オレンジカフェがオープンをする。

適正な 行政水準が

(問) 給与が131名の職員の給与が14億9100

万円ある。これは町税の14億3881万3千円を超えている。町税がほとんど職員の給料である。義務的経費が膨らみ投資的経費がなかなか打ち出していないが。

(町長) 現状で金額を見ると、人件費比率は12・5%である。金額を見ることと、適正人数がどこにあるか、大事になってくる。職員の適正化計画をしつかりと見きわめていくことが重要だと認識している。

財政の健全化 をどうはかる

(問) 交付税が、本年度予算でも減ってきている。既存施設・公共施設の維持管理や28年度えみりあが完成し、次は体育館屋根の耐震工事があるが、本年度

予算には入っていない。今後一層の財政の健全化をはかるなかで、町の方向性は。

(町長) 交付税が増えていけばよいが、今の国の状況では増えていかない。そのなかで起債事業を起こし補助金をもらう。いくら有利な起債事業であっても借金は借金である。一旦借りるが交付税措置で返していく。交付税の枠の中で自由に使えるお金が圧迫されるのでバランスをとり、基金を上手に使いながら、借金をせずにやっていくことも大事だと認識している。



予算審議 10時間に及ぶ総括質疑



3月6日から始まった平成29年第1回定例会、29年度の当初予算と28年度の補正予算の審議を行った。前年度決算で度重なる補正予算を組んだなか、多額な不用額を出した反省を元にしっかりと吟味された予算が計上されたかが焦点である。質疑の一部分を紹介します。

この3月補正で 積み立てる理由は

質問 奨学金基金へ2500万円、財政調整基金8千万円、公共施設等整備基金2千万円とある。この時期に多額の積み立てを行うと決算指標に大きな影響が出てくる。財源とこの時期に行わなければならない理由は。また、これによる影響は。

答弁 奨学金について、は平成29年度貸し付け予定に見合う金額を積み立てるものである。財政調整基金と公共施設等整備基金の積み立

ては専決補正で基金を積み込むのはいかなるものかという意見をいただいていたなか、今回提出させていただくもの。財政調整基金約12億3千万円、公共施設等整備基金6億7千万円である。財源は予備費で1億7千万円となるものから計上している。影響としては決算収支に影響する。

補正予算の組み方に 問題ありでは

質問 今回8回目の補正予算だ。63億円の予算から67億円まで補正で積み上げておいて今

回は2500万円の減額である。いかなるものか。

答弁 予算であるので、必要なものを必要なだけ計上し、その中で運用していく。国のものまた県のもの災害等で不用不急で計上するもの、国の交付金決定による減額などがある。各課で予算管理をしているが定例会毎に補正が出てしまうのが現状。

余った予算を 活用しているか

質問 当初予算で計上できなかった事業を、余った予算を使って今

回の補正で計上しているか。

答弁 9月の決算で繰越金が出てくる。その段階で事業の拾い上げを行い復活させている。3月の段階では事業を行う時間的余裕がない。

高齢者施策の 予算方針は

質問 前年度に比べ観光局の設立、観光施策に重点を置いた予算措置だと理解する。町の目玉事業の観点から、高齢者施策の方が非常に重要ではないかと思うが。

答弁 仮称観光局による観光を通じた地域づくりも町の大きな課題でありテーマだ。また、福祉の面でも高齢化率

32・1%であり、地域包括ケアシステムの一層の推進を図り介護予防認知症対策に大きく取り組んでいく。

フォレストアドベンチャーは赤字経営か

質問 歳入1800万円、歳出が1790万円、これでは赤字経営と言えるのではないか。

答弁 平成26年度にオープン当時の2500人程度の利用者から次年度は概ね6千人程度を見込んでいる。歳出と歳入とほぼ同じくらいの額になっていくが、清流苑利用やくだもの狩りへの大きな波及効果があると考えている。また、今後も更なる利用者増を予定している。

予算6億円減で住民サービスは？



地域起こし協力隊と 集落支援員の違いは

質問 今までは農業費

の中に協力隊と支援員

の予算が組まれていた。

29年度予算では消防費、

保健体育費に振り分け

られている。今回振り

分けた理由と協力隊と

支援員の機能と役割は、

答弁 協力隊員は様々

な課題に取り組んでい

ただいている。事業に

対応する形で明確化す

るため、それぞれに対

応する事業予算として

計上した。集落支援員

は集落課題を地域の人

と一緒にあって相談し
支援していく、また農
地課題や新規就農者の
支援も担当してもらっ
ている。

マンパワーは 充足したか

質問 人件費は6千万

円増という非常に大き

な数字である。総額で

は平成23年ベースに戻

った形だ。将来を見据

えた人員計画が重要だ

今回の職員増員でマン

パワー不足が解消され

るのか。

答弁 それぞれの課の

来年度以降に必要な人

員について調査を行い、

きちんと育てていくこ

とでだんだんと解消で

きるものと考えている。

住所変更してないと 貰えない補助金

質問 ふるさと学費応

援補助金100万円の

計上について、前年度

予算の半額だがその理

由は。また、大学を卒業

して帰ってきて就職し

ても大学時代に住所変

更しなかったため対象

外となってしまう今の

制度は改善すべきでは

答弁 28年度予算額で

は224万円で約40人

分計上した。実績では

8人の申請があり補助

を行った。29年度は20

人を想定し100万円の

計上とした。この補

助金制度は新たに松川

町に住民登録をした者

とある。ご指摘の部分

は制度設計時に想定し

ていなかった。人材確

保の側面もあり対象を

拡大していきたい。

日赤病院へ29年度も 1億円の補助

質問 平成25年度から

既に4億円余りの補助

がなされている。28年

度から100%交付税

措置から実績に対し80

%の措置となり2千万

円余の町負担が生じて

いる。町の中核病院で

ある日赤の補助には反

対ではないが、多額な

補助金を拠出する理由
は。また、どんな経費
に充てる計画なのか。
患者のための投資的経
費に充てられたか、経
営改善の自助努力は、
など審査しているか。
また、補助金を1億円
とする根拠は。

答弁 不採算の分を担

う公的病院の役割とい

うのは、地域医療にと

って必要不可欠である

という考え方。一応3

年を区切りとして、補

助の継続について判断

していくことになって

いる。赤字はここ数年

改善されてきている。

経営状況の報告を鑑み、

交付税で措置されるな

か補助金1億円は適当

な金額と判断している。

だより

社会文教 常任委員会

員会、3月13日(月)・15日(水)に社会文教常任
算と平成29年度当初予算の審議と議員間討議を

答弁

質問・意見

- ①タブレット端末は中央小60台、北小が40台、合計100台を予定している。LANを使ってそれぞれ繋ぐ形になり今後は先生がたの視察研修などを行い、有効に活用していきたい。
- ②町が指定するもので5施設がある。昼間はデイサービスや訪問介護を行い、宿泊もできる施設で複数の施設が組み合わせた地域密着型サービスを使う、一つの事業所で多様なニーズに対応しているので利用者が増えていることによる。
- ③公共施設の屋根5カ所に設置されていて子育て支援に使うように計画されている。小中学校入学時の保護者負担は大きく入学準備の支援とした。
- ④町での負担は平成30年までの3年間を予定している。地域医療を守るためには今後も継続していかなければと考える。補助金の使い道については独立採算制であって経営に直接的に参加はしていない。
- ⑤2人目3人目では未満児も含め所得制限は設けず2分の1無料の軽減を行っている。未満児の保育料は保育士の配置や給食の分を高く設定している。金額的には近隣市町村と大きく変わりはない。
- ⑥利用対象者の要綱の適正化と27年度の実績が857万円であった。免許返納者増に対しては対応ができていると考える。

- ①小学校費の備品購入でタブレットとあるが、ハード面の整備は良いことである。利用に精通した人材や教育ソフトなどの整備については。
- ②地域密着型介護サービス給付金の増と、デイサービスの一部が地域密着型に移行した理由は。
- ③太陽光発電売電益での入学祝い金2万円を支給する経緯について。
- ④下伊那赤十字病院への補助金と町に負担については。
- ⑤未満児の保育料が3歳以上児に比べて高いのはなぜか。
- ⑥ひまわり乗車券の880万円は28年度より20万円減額になっている。運転免許返納者も増えているなか、設定根拠は。

平成28年度一般会計補正予算・特別会計補正予算・平成29年度一般会計予算・特別会計予算について全員の賛成で当委員会では、原案の通り認めることが妥当と決しました。

調査・研究

視察先は、旧東小、福与保育園（4月から再度開園）、松川北小学校、子育て支援センターおひさま、大島保育園の駐車場用地、旧北名子保育園のコミュニティー教室、オレンジカフェの民家、中央小中庭で各現場で現状や課題について説明を受け状況について確認しました。



旧東小学校体育館にあるボルダリング

総務産業建設 常任委員会

委員会

3月9日(木)・10日(金)に総務産業建設常任委員会を開催し、付託された平成28年度補正予算行い各委員会ごとに現地調査を実施しました。

質問・意見

答弁

- ①28年度木質バイオマス利活用研究事業226万4千円、検討委員会で11万3千円を盛って研究し、アンケート調査もしてきている。新たな事業としては29年度予算には載っていないが。
- ②都市計画費の委託料800万円、道路の見直しマスタープランとは。
- ③商店街の街路灯取り替え補助金の内容は。
- ④予備費の1千万円は昨年と同じ額であり、繰越金を当てにしていくという予算取りは、財政規律上問題ではないのか。
- ⑤発電事業において太陽光発電のパネルの経年劣化で20年後には大量の処分費用が発生すると新聞等でも懸念されている。今から処理費用を計上しておくべきでは。
- ⑥総括質疑の確認で、財政調整基金8千万円、公共施設等整備基金増2千万円の積み立てについて、今回の補正でなぜ計上しなければならないのか。

- ①現在まだ調査中で28年度末に上がってくる予定。近々に最終的な打ち合わせ協議をする予定である。
- ②県作成の松川町の都市計画のマスタープランや飯田下伊那圏域のマスタープランがあるなか、都市計画法に従い町独自のマスタープランをつくりなさいという国からの指示で動いている。
- ③LEDランプの施工も検討したが、今回は水銀灯の方で交換するという事で80万円の予算とした。
- ④歳入と歳出が合わなくて苦労している部分もある。予備費はどのくらいがいいのかという議論等もあるなかで、不要不急の何かあった折にはここで対応できると考えている。
- ⑤経年劣化は20年間で最大20%程度と予想されている。現段階から処理費の計上はまだ早いという考え方である。
- ⑥今年度の不用額・節約額を見通した決果、積み立てても良いのではないかと、また決算が出てから対応していくのも一つの方法、この時期29年度見通しを精査する中で政策的に基金に積み立てていくことも一つの方法だと考えている。

一般会計補正予算で、財政調整基金8千万円、公共施設等整備基金増2千万円の積み立てを削除し、減額分を予備費に計上する修正案が出され討論の結果、修正案に賛成3、反対3、同数により委員長判断で修正案を可決しました。修正以外の部分及び平成29年度当初予算については原案通り全員賛成でした。



町民の水瓶 中桐浄水場

調査・研究

今回は上下水道関係3施設を視察しました。まず片桐ダム堰堤より原水の取り入れ口や県計画の小水力発電の説明を受け、中桐浄水場に移動、原水から飲料水になる過程を視察後、前河原にある公共下水浄化センターで、汚泥の脱水装置の更新や今後計画の建屋の耐震補強工事の説明を受けました。

議員力を磨く を重ねる

議会のうごき

先進地に学ぶ

2月13・14日

リーダーの情熱が

まちを変える

長野市

株まちづくり長野

長野商工会議所は平成14年にTMO（商業の活性化を行う機関）をスタートして、15年には商工会議所や地元

商店街が出資して株まちづくり長野を設立した。

ダイエー長野店や長野そごう跡を再生すると共に、中心商店街に位置する十数個の蔵を活用して新たな施設をオープンし、着実に賑わいを戻してきている。タウンマネージャーの腰原照夫氏の能力やイノベーションにかける情熱の結果であるとも感じた。

新井商店街でも空き店舗対策が課題となっている。起業家の育成や、他地区からの入店希望にも柔軟に対応できる窓口を設置することが不可欠。活性化には、行政と地域が適切なパートナーシップをもつことが最も重要だ。



飯綱町

議会改革

長野県をリードする飯綱町議会との交流で、議会改革の糸口を探った。寺島渉議長のリーダーシップのもと128頁に及ぶ白書をまとめあげた。議会本来の役割と責任を自覚し、執行側とあらゆる面で切磋琢磨し、お互いの力量を高めることによって住民の確かな暮らしが営まれるよう取り組んでいる。

学ぶべき点は政策サポート制度である。現状把握・問題点の整

理・取り組むべきことを基本に15人が議論している。将来を担う議員の育成にもつながり住民の声が確実に反映される。議会だよりモニター制度も実施され50人がチェックしている。インターネットによる議会情報の発信も住民が見やすい番組作りへと努力が見られた。



玉村豊男ワイナリー
千曲川ワインバレー構想

エッセイストであり画家であり、農園主「ヴィラデストワイナリー」のオーナー玉村豊男氏が画いた千曲川

ワインバレー構想の今とこれからを展望した。千曲川流域を活性化したい、就農希望の若者やワイナリー開設を夢見る人の背中を押し、という思いから始まったプロジェクト「千曲川ワインバレー」そのノウハウを伝授するワインアカデミーに全国から人が集まる。

東御市
就農トレーニングセンター

東御市では市の支援制度と県の里親制度を合わせ、農業の担い手の受け入れ育成に積極的に取り組んでいる。

就農トレーニングセンターは、農業の理論と実際を研修し、習得する場所、住居は2DK4世帯分、研修生は家族で3年間入居ができる。

就農の最初の課題は資金と農地の確保、そして住居である。それ



らをパッケージとして紹介し、「就農の壁」を取り払うことの重要性を確認した。

ワインアカデミーが開講され、ワイン用ブドウ栽培に取り組もうとする新規就農者が急増している。見習うべきは振興策と就農策だ。



提言に向けて 積極的に視察・研修

待ったなしの議会改革 第2回シンポジウム

1月17日、第2回町
村議会改革シンポジウ
ムin長野が16町村が参
加し、波田文化センタ
ー アクトホールで開
催された。

○『議員のなり手不足
について』

○『政策提言のあり方
について』

の2つのテーマについ
て事例発表があり、活
発な意見交換が行われ
た。当議会からは『政
策提言のあり方につ
いて』①議会活性化の道
のり ②政策提言まで
の経過 ③今後の課題
について発表を行った。
多くの町村議会が将来
を担う若者の議員のな
り手不足に悩みを抱え
ている。地域社会の変
化に伴い、住民の行政
や議会に対する関心・
問題意識・参加意識が
薄れている。地方自治
を担う新しい地方議会
創りを進めるうえで、
多様な人たちが活躍で
きるためにも、定数・
報酬について議論が必
要であると、パネラー
の大学教授・江藤俊昭
氏から指摘があった。

これを契機に先進的
に取り組んでいる飯綱
町議会の視察研修を行
うことにつながった。

意見交換会において
は、松川町議会より広
報・広聴委員会の立ち
上げと、政務活動費に
ついて、高森町議会が

質疑集中の 議会交流会



事例発表する松川議会

平成28年度、高森町
議会と松川町議会の交
流会が、2月24日に町
の中央公民館「えみり
あ」で開催した。講演
会には、コストリ力渡
航報告として「コスト
リ力で伝えたいこと、
考えたこと」の演題で
高坂教育長より講演が
あった。

らは議員定数問題と報
酬問題についての報告
がなされ、活発な質疑
応答がみられた。



活発な意見交換

田園回帰の時代

飯伊市町村議会議員研修会

藤山浩氏（島根県中
山間地域研究センター）
の講演会・意見交換が
あった。飯田市・阿智
村が抱える地域の課題
を、島根県の具体的な
事例報告という形で語
られた。都会に住む
ター希望者が移住先
を選びにあたって、①

読まれ伝わる 『議会だより』に 県町村議会広報研修会

芳野政明氏（広報コ
ンサルタント）を講師
に、基本と編集を学び
ました。発行の目的は、
町民の皆さんが議会へ
の関心を高めることに
ある。町・町民にくら
しやまちづくりなどの
地域課題を認知しても
らい、解決へ参加を促

「中途半端ではない」田
舎である。②簡単に帰
省できる場所でないこ
とが条件だという。地
域にいる人々の大切な
ことは、共に過去を振
り返ってみることであ
り、地域は一人ひとりの
生きた姿を記憶し未
来へつなげるところ。
人口とは人生の数。金
をかけたものが必ずし
も残らない。本気で活
動できた人の記憶が尊
い。自らの地域に合っ
た解決策はそこから生
まれる。（1/20 飯田市）

すことだ。議案の議決
に至る経過や行政監視
政策提案など、町民へ
の説明責任や判断材料
の提供の役目を果たす
ための情報発信のツ
ールであること。特集は
町民の知りたいこと、
読みたい内容にし、
さらに、見出しや記事・
写真などを効果的にレ
イアウトし、分かりや
すく、読みやすい紙面
制作にも習熟したい。
独自の工夫も加えなが
ら訴求する紙面づくり
に努めることも、実物
を使いアドバイスを受
ける研修会となった。

（1/30 安曇野市）



クリニックをパネに

国民健康保険制度改革に備えて

学ぶ

議会議員協議会

1/27

平成27年5月27日に改正法が成立し、平成30年度に新制度が施行されるのに伴い、本年度が準備最終年にあたる。町民の健康とくらしに直接係わることであり、町の準備内容を確認し、保健制度におけるきめ細かい事業を引き続き担う行政の役割を担当課より学んだ。

①国保制度改革の経緯と概要。②新たな財政運営の仕組み。③新たな事務運営の仕組み。④施行に向けたスケジュール。の解説。

参考資料として、長野県内市町村別の平成24～26年度平均収納率類型表（一般被保険者現年度分）と、同市町村別一人当たり実績医

療費一覧（圏別一人当たり医療費は圏内総医療費を圏内年間平均被保険者数で除した数値）などの実績データも示された。



認知症を学び地域で支えるために

学ぶ

認知症サポーター養成講座

2/20

講師は認知症キャラバンメイトの小松敏美氏（下伊那赤十字病院師長／町委託・オレンジ推進員）。誰もが認知症についての正しい知識をもち、認知症の人や家族を支える手立てを知っていれば「尊厳ある暮らし」をみんなで守ることができる。認知症は誰でもなる可

能性のある病気である。いつ自分や家族が、あるいは友人や知り合いが認知症になるかわからない。他人ごととして無関心でいるのではなく、「自分の問題」という認識をもつこと。テキストと実践ビデオを見ながら学んだ。認知症になっても困らないように共に支え合う



地域にするために、一人ひとりが認知症サポーターになることが大切です。（受講者にはオレンジバンドが配られました。）



町議会では、議会基本条例に基づく政策立案及び提言を積極的に実践する一環として政策討論会や議会と語る会にて課題を決め、議



議会から町長へ二つの提言 3/2

提言

どう取り組んでいくか

論を重ねて、提言した。

●自然エネルギー政策に関する提言

①自然エネルギー政策に関する町民の意見の把握と対応。②平成27年3月10日提出済みの農業政策に関する提言の即時実行。③第5次総合計画に照らした土地利用の方向性の確立。将来のまちづくり発信

による共通認識の醸成。

●松川町青年の家宿泊棟に関する提言

①平成29年度中での宿泊棟の繰り上げ整備完了。②青年の家の管理運用部署の変更と平成28年度までの事業の継続運営と現スタッフの継続雇用。③施設管理運営スタッフの人材育成の実施。



3月議会よりチャンネル・ユーの一般質問の再放送が、一議員ずつに変更しました。

一般質問については「議会だより」には要

チャンネル・ユーの議会放送を

聴く

変更しました

広聴部より

約された質問と答弁が掲載されますが、スペースも限られ双方の発言が詳しくわかるのは、議会放送か議会議事録しかありません。再々放送についても現在要請中です。

仮称「議会の時間」の第1回が5月に放映予定準備中です。議会のこと、議員の活動

のことも、知りたいことがありましたら議会広聴部へお寄せください。皆さんの声が作る番組を目指します。

「議会と語る会」開催については、関係各位の方々と調整をし、ご案内していきます。議会に関するご意見は、議会事務局・各議員にお寄せください。

議 決 結 果

●全会一致で議決されたもの

平成29年第1回定例会議決結果

件 名	結 果	内 容
特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	人事院勧告に伴う条例改正
議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	人事院勧告に伴う条例改正
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	人事院勧告に伴う条例改正
松川町税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	地方税法改正に伴う条例改正
松川町福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例の制定について	可決	児童扶養手当法施行令の改正
松川町使用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	可決	宿泊施設使用料及び付属施設利用料の改正
指定管理者の指定	可決	高齢者支えあい拠点施設の指定管理者の指定について
議決	可決	古町南部・西山・増野・上町 各自治会長
一般会計予算	可決	除雪機械等設備・小型動力ポンプ搭載自動車 およびの森公園整備・町道229号線道路改良
国民健康保険事業特別会計予算	可決	61億8200万円
後期高齢者医療特別会計予算	可決	16億9340万3千円
介護保険事業特別会計予算	可決	1億4839万3千円
公共下水道事業特別会計予算	可決	13億 564万4千円
農業集落排水事業特別会計予算	可決	3億9633万9千円
養育宿泊施設事業特別会計予算	可決	3億8776万1千円
発電事業特別会計予算	可決	5億3995万6千円
水道事業会計予算	可決	932万8千円
一般会計補正予算(第7回)	可決	収入 3億2269万8千円 支出 4億8257万8千円
一般会計補正予算(第8回)修正提案を除く部分	可決	収入 299万6千円を追加し、67億8765万円に
国民健康保険事業特別会計補正予算(第4回)	可決	2577万4千円を減額し、67億6187万6千円に
後期高齢者医療特別会計予算(第2回)	可決	801万円を減額し、17億469万8千円に
介護保険事業特別会計補正予算(第3回)	可決	172万4千円を減額し、1億4985万円に
公共下水道事業特別会計補正予算(第3回)	可決	5146万円を減額し、12億6931万7千円に
農業集落排水事業特別会計補正予算(第3回)	可決	223万5千円を追加し、3億3487万2千円に
養育宿泊施設事業特別会計補正予算(第3回)	可決	141万1千円を追加し、3億9575万7千円に
発電事業特別会計補正予算(第2回)	可決	運営費107万4千円を予備費とする
水道事業会計補正予算(第3回)	可決	109万1千円を追加し、870万6千円に
財産購入	可決	収入 4億 438万1千円 支出 5億5525万9千円
意見書	可決	松川町青年の家建物及び土地等の取得について
	可決	土地35,296.57㎡、本館棟1,732.83㎡、体育館694.87㎡、倉庫69.02㎡
	可決	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出について
	可決	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

●多数決により議決されたもの

平成29年第1回定例会議決結果

○ 賛成 ▼ 反対

件 名	米山郁子	佐藤史人	川瀬八十治	大蔵洋	中平文夫	菅沼一弘	黒澤哲郎	坂本勇治	熊谷宗明	米山俊孝	島田弘美	間瀬重男	松井悦子	結果	内 容
条例	松川町特別会計条例の一部を改正する条例の制定について	▼	▼	○	○	○	○	▼	▼	○	○	○	▼	可決	松川青年の家特別会計廃止について
H28年度補正予算	松川町一般会計補正予算(第8回)に対する修正動議	○	○	▼	▼	▼	○	○	○	▼	▼	○	○	可決	総務費9億3572万7千円→8億1875万8千円、 予備費7736万3千円→1億7736万3千円

主 な 議 会 日 程

1/ 4(水) 役場仕事始めの式 商工会新春年賀会	2/ 7(火) 中部伊那町村議会協議会等提言 行動報告会	2/27(月) 議会全員協議会
1/ 6(金) 広報部会	2/ 8(水) 下伊那北部総合事務組合定例会	2/28(火) 南信州広域連合定例会
1/ 8(日) 消防団出初式	2/ 9(木) 竜西一貫水路視察	3/ 6(月) 議会全員協議会 本会議(開会)
1/17(火) 北部ブロック議会運営委員会	2/10(金) 総務産業建設常任委員会視察調査 太陽光発電視察	3/ 7(火) 本会議(総括質疑)
1/18(水) 福祉を考える集会	2/13(月) 長野市・飯綱町議会調査研修	3/ 9(木) 総務産業建設常任委員会
1/19(木) 議会政策討論会 社会文教常任委員会	2/14(火) 東御町議会調査研修	3/10(金) 総務産業建設常任委員会
1/20(金) 飯伊市町村議会議員研修会	2/15(水) 三遠南信議長協議会総会サミット	3/13(月) 社会文教常任委員会
1/26(木) 下伊那赤十字病院運営協議会	2/16(木) 社会文教常任委員会	3/15(水) 社会文教常任委員会
1/27(金) 政策討論会 議員協議会 松川町都市計画審議会 広報部会	2/18(土) 福祉を考える集会	3/21(火) 本会議(一般質問)
1/31(火) 広報クリニック研修(安曇野)	2/20(月) 認知症サポーター養成講座	3/22(水) 本会議(最終日)
2/ 2(木) 議会運営委員会 議会全員協議会	2/22(水) 農商工連携講演会	3/23(木) 県議定会定期総会
2/ 6(月) 南信州広域連合協議会	2/23(木) 県議定会定期総会情報交換会	3/25(土) 健康を考える集会
	2/24(金) 議会政策討論会 高森町議会交流会	3/27(月) 清流苑経営会議
		3/28(火) 南信州広域連合定例会
		3/29(水) 広報部会

ただ 所信を質す！ 一般質問

- 1 坂本勇治議員 (13 ページ)
 - ・課題解決の経過と実績は
 - ・役場内の業務仕分けと見直しは
- 2 熊谷宗明議員 (14 ページ)
 - ・コスタリカ共和国との友好交流の意義は
 - ・各種集会から見えてきた課題と対応策は
- 3 大蔵 洋議員 (15 ページ)
 - ・ふるさと納税制度への対応について
 - ・南信州まつかわ観光局（仮称）設立に向けた進め方について
- 4 川瀬八十治議員 (16 ページ)
 - ・高齢化社会が進む中、現在の介護施設について
 - ・認知症対策について
- 5 佐藤史人議員 (17 ページ)
 - ・町民への教育施策について
 - ・ハーフマラソン大会について
- 6 中平文夫議員 (18 ページ)
 - ・核となる自治会活動の支援について
 - ・情報発信のメディア活用について
- 7 島田弘美議員 (19 ページ)
 - ・人口減少社会における行政サービスについて
 - ・職員の働く場での生きがいと人事について
- 8 米山郁子議員 (20 ページ)
 - ・火災や災害に強い地域力のあるまちづくりの取組状況は有効であるのか
- 9 菅沼一弘議員 (21 ページ)
 - ・認知症予防対策について
 - ・放置自転車について対策について
- 10 間瀬重男議員 (22 ページ)
 - ・英語教育の現状と今後の進め方の考えは
 - ・小中学校へのエアコン設置について
- 11 黒澤哲郎議員 (23 ページ)
 - ・町長がチャンネル・ユー社長の是非について
 - ・所信表明に關しての質問

一般質問は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動です。町政全般にわたって執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

質問の持ち時間はひとり20分ですがスペースの都合上、質問者の責任において質問と答弁を要約して掲載しています。

本会議での傍聴をお待ちしております。

や疑問などを投稿ください

言いたい聞きたい！

議会に對する「意見

紙に「I have a Dream 募

I have a Dream 募集

の申し込み・問合せ先
事務局まで。
3617020
gikai@matsukawa-town.jp

真を投稿ください。

純真な笑顔の瞬間を！

議会だよりモニター

としてお気づきの点、批評などを、自由な視点でお寄せください。

議会広報紙をチェック！

よりを目指し投稿・モニターを募集します。

さい。どんな視点でも結構です。

募 集
皆さまでつくる議会だより

が元気に頑張る姿を紹介しています。学校の活動、社会体育の活動、文化活動、地域の活動などを写真と記事で掲載します。代表の方、保護者の皆さんなどしどしお寄せください。

12月～3月の政務活動費実績

(7,000円×4カ月＝28,000円)

氏名	申請額 交付額	活動内容	支出額
森谷 岩夫	28,000	2/14～15 長野・飯綱・東御市研修	14,252
熊谷 宗明	28,000	2/14～15 長野・飯綱・東御市研修	14,257
松井 悦子	未申請		0
間瀬 重男	28,000	2/14～15 長野・飯綱・東御市研修	14,257
米山 俊孝	28,000	2/14～15 長野・飯綱・東御市研修	14,257
坂本 勇治	28,000	2/14～15 長野・飯綱・東御市研修	14,257
中平 文夫	28,000	2/14～15 長野・飯綱・東御市研修 書籍代(自治六法)	14,257 5,918
黒澤 哲郎	28,000	2/14～15 長野・飯綱・東御市研修	14,257
菅沼 一弘	28,000	2/14～15 長野・飯綱・東御市研修	14,257
島田 弘美	未申請		0
大蔵 洋	未申請		0
川瀬八十治	28,000		0
佐藤 史人	28,000	2/14～15 長野・飯綱・東御市研修	14,257
米山 郁子	28,000	1/17 地方議員研修(防災&政策条例) 2/14～15 長野・飯綱・東御市研修	25,000 13,694

問 行政業務の民間感覚とは

答 住民目線に立ち丁寧な話を聞くことだ

(問) 町長は民間手法であるPDCAサイクルや報連相・5W1Hを推進していくと言っている。6年になる。今まで何人もの質問に、道半ばだと答弁しているが、職員に運用方法が伝わっていないのではと思うが、行政業務に生かされ機能しているか。

(町長) 就任時の目標の一つに行政の意識、発想の転換を掲げ、職員に対して朝礼などで話し徹底を図ってきた。また、課長会議でも一年間何を目指しているのかを話し合っている。

(まちづくり政策課長) PDCAについては総合計画組織目標、行政評価人事評価制度などで成果を見ながら改善を図っているが、経過を見たなかで、改善をどのようにサイクルに繋ぐかが課題だと思っている。

(問) 行政と町民の思いのギャップがあるのではと思うが、町民のさまざまな要望やご意見など思いをどのように聞き事業に反映しているか。

(町長) 自治会単位の懇談会にも出席して直接町民の意見を聴いているが、行政職員の意識改革や聞く力、報連相と言った教育に逆効果ではないか。

(問) 新規事業が毎年増えるなかで仕事量が増え、職員の残業時間が長くなっているのではと心配しているが、適正な労働時間と健全な労働環境の確保と人件費の削減など、事業や業務の無駄を無くす取

(まちづくり政策課長) コンピューターなどハードやソフトに精通している職員はいないのが現状で、課題だと認識している。

問 業務仕分けはできているか

答 手が付いていない

(問) 新規事業が毎年増えるなかで仕事量が増え、職員の残業時間が長くなっているのではと心配しているが、適正な労働時間と健全な労働環境の確保と人件費の削減など、事業や業務の無駄を無くす取

(総務課長) 職員の中から希望者や、担当課の中で、資格を取っていただいている。また、中途採用でも必要な専門職は、採用している。

(総務課長) 監査委員からも指摘されている。職員間でも提案されているが、どのように実行していけばいいか進んでいないのが現状だ。



坂本勇治 議員

(町長) 就任時の目標の一つに行政の意識、発想の転換を掲げ、職員に対して朝礼などで話し徹底を図ってきた。また、課長会議でも一年間何を目指しているのかを話し合っている。

(総務課長) 行政と民間での違いはスピード感とコスト感覚が足りないと思うている。

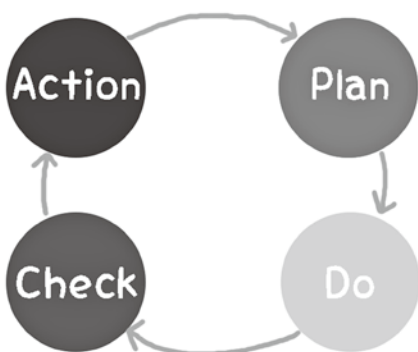
(問) 行政と町民の思いのギャップがあるのではと思うが、町民のさまざまな要望やご意見など思いをどのように聞き事業に反映しているか。

(町長) 自治会単位の懇談会にも出席して直接町民の意見を聴いているが、行政職員の意識改革や聞く力、報連相と言った教育に逆効果ではないか。

(問) 新規事業が毎年増えるなかで仕事量が増え、職員の残業時間が長くなっているのではと心配しているが、適正な労働時間と健全な労働環境の確保と人件費の削減など、事業や業務の無駄を無くす取

(まちづくり政策課長) コンピューターなどハードやソフトに精通している職員はいないのが現状で、課題だと認識している。

民間のアドバイザーにも指導を受け、職員にも浸透させて改善を図っていく。



PDCAサイクル



無駄を見つけてゆとりを作ろう

ゆとりはアイデアの泉

その仕事本当に必要?

改善すればPFも夢じゃない

問

コスタリカ共和国との友好交流の意義は

答

平和の大切さ、ひたむきな目の輝き

(問) 東京オリンピックパラリンピックのホストタウンとして正式に登録がされ歩み始めている。町民あげてのホスピタリティ構築のためには、しっかりとした交流の意義が必要と考えるが。

(町長) 未知の世界を知ることが人間にとって喜びであり、子どもたちにとっても給食と一緒に食べたり遊んだりすることが将来に向けて新しい世界が開けてくると思っている。

(問) 計画には中高生の派遣事業があり、心配



戦後の生活改善からヒントを学ぶ(増野地区)

する声もあるが。

(教育長) 言葉の問題や

行き帰りの時間的な問題などで、現在のところ中学生は考えていない。名乗りを上げてくる高校生がいれば考えていきたい。

(問) 町長はコスタリカ

訪問、奥深い山の開拓地の視察を通して何を学び、行政運営のなか

で何を生かそうとしているのか。

(町長) 平和の大切さを

一番痛感した。お互いに助け合って一生懸命自分たちの生活を向上させていこうとするそのひたむきな目の輝きに感動させられた。

(問) 教育長は生活改善

派遣事業という任務のもと、町の農村開発を

問

各集会から見えてきた課題と対応策は

答

課題を自分たちで決めることが第一歩

テーマにセミナーに臨んできた。住民の意識を改革し、自治力を高めているファシリテーターの行政職員から学んだものは何か。

事は住民が考え、議論し、住民が決めることを支援することです」あくまでも住民主体の活動をサポートしていくのが支援する者の立場である。戦後の開拓

(問) 休会も考えられて

いた第41回健康を考える集会在開催できたことに意義深さを感じる。行政主導でなく、公民館活動を軸に住民主体で支えていく体制づくりをどう構築していくのか。

えている。

(問) 地区公民館の主宰や本館部員のなり手がいないことが顕在化してきた。対応策は。

(生涯学習課長) 時代背

景を考え、会合の回数や時間、効率的な話し合いを研究していく。

(保健福祉課長) 長い歴

史のなかで徐々に行政主導になってきた感がある。引き続き保健師、栄養士が自主グループに関わっていくが、あくまでも課題を自分たちで決めることが住民主体の第一歩だと考



全員が主役になって継続を

問 積極的に取り組む姿勢は

答 節度ある制度の運用を行う

〔問〕 ふるさと納税は、地方を応援する目的で制度化された納税制度である。歳入を少しでも確保しようと積極的に取り組んでいる自治体と比較すると寄附額の伸びがあまりにも少ない。伸びない原因は、現状をどのように分析しているか。

責任をもって地方交付税で補うのが基本だ。

〔まちづくり政策課長〕

寄附額を増やすには高額の返礼品を準備し、件数を増やせば良いが町の方針として節度ある制度運用を行っている。返礼品は町内産に限定している。

〔問〕 ポータル

サイト運用の遅れた原因は、納税者への情報フィードバックは。

〔まちづくり政策課長〕

どういう仕組みになるのか把握するのに時間がかかり、近隣の状況を見てポータルサイトの導入を

考えた。寄附金の活用状況は現状ではお礼状の発送で対応。

〔問〕 応援基金に繰り入れられた寄附金の活用状況は。

〔まちづくり政策課長〕 公用車・バスなどを購入しており、29年度は保育園の設備費用にと予定している。



大蔵 洋 議員



返礼品は自慢の特産品だ

問 町民益を見い出せる法人化は

答 別組織の形態を検討している

〔問〕 観光局(仮称)の30年3月の組織発足・設立総会に向け、戦略会議・準備室・設立検討委員会の3つの部署において種々検討が進められている。法人設立に

対して町民の理解が十分得られていない。財政負担に見合った町民益を見い出せる法人化は。

る。積極的に地域づくりに携わっている方が戦略会議を離脱している。内容・進め方に問題は無いのか。

〔観光局準備室長〕 住民参加型の実践型ワークショップとしてスタートした。地域ブランドというものを地域資源

のなかから見い出していく。深掘りして具体的に体験プログラムを企画し、モニターツアーを次のステップとして計画している。地域ブランドと松川町独自の地域ブランドが何かと

いうことを継続的に見出していきたい。



まつかわブランドを求めて

問 高齢化が進むなか、今の介護施設は

答 増床など介護施設の充実を図る

(問) 毎年平均寿命が延びている中、介護を必要とする人も年々増加をしている。そんななか、町にはどのような介護施設があり、それぞれの役割や利用状況はどうなっているのか。

(問) 入所待機者が多いと聞いているが、どのくらいの人がいるのか。また、南信州広域連合の施設との連携と調整をはかっているか。

(保健福祉課長) 町内の入所待機者は35名から40名となっている。平成37年度までに30の増

床の計画をしている。

南信州広域連合では入所措置調整要綱により調整をしている。管内の特養老人ホームは

14施設あり、514名が待機者である。地域包括ケアシステムの構築を推進しているところである。

在宅での利用が増えている、地域密着型施設の必要性等を検討していかなければならないと考える。

問 認知症対策と予防は

答 早期発見やサポーターの支援が必要

(問) 認知症対策として、「認知症集中支援推進事業」の内容と下伊那赤十字病院のオレンジチームと地域包括支援センターとの連携は。

(保健福祉課長) 事業内容は、認知症になってからも本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で暮らせるように支援を行う事業で日赤のオレンジチームに委託をしている。

早期の診断と対応に向け、年々訪問の件数も増えている。

早い時期からサポートー養成にも取り組んでいて、2000人以上の方が認証サポーター養成講座を受講している。

(問) 新規事業の「SOS ネットワークシステム」

と「自殺対策・精神福祉相談窓口業務委託」の内容は。

(保健福祉課長) 年々行方不明になった方の情報提供を求める件数が増えている。町内企業の協力などを得るなか、昨年、徘徊高齢者などの捜査行動マニュアルを作成した。

(要望) 福祉事業の増加で職員の補充が必要となる。職員のレベルアップで円滑な事業をお願いしたい。

そのような事案が発生した場合、家族や行政機関が連携して対応することによって、生命の危険を早く回避するようにになる。

自殺対策の連絡会を設置し専門の窓口は、旧北名子保育園の地域活動支援センターに設置している。

職員の補充が必要となる。職員のレベルアップで円滑な事業をお願いしたい。



川瀬八十治 議員

また、入所ができる特別養護老人ホームなどがある。

国の新オレンジプラン(認知症施策推進総合戦略)

松川町認知症初期集中支援推進事業

委託(平成27年9月開所)
下伊那赤十字病院(オレンジチーム)

医師 1人
看護師 2人
医療ソーシャルワーカー
地域支援推進員

専門医療機関

地域包括支援センター

医師

家族や本人

国の新オレンジプラン



認知症サポーター養成講座

問 町民の教育と学びの施策は

答 子育て支援を重点に地域の力を借りる

(問) 29年度の子育て支援の重点施策は。

(町長) 子育て支援は第5次総合計画の柱であり最重要課題ととらえている。子どもたちの育っていく子育ての環境ハードとソフト面、さまざまな面について優先順位をつけ取り組んでいく。保育園から中学校卒業までの義務教育終了までの多大な経済的な負担についても施策を講じていかなければならない。

(教育長) 保護者の方の経済的負担の軽減という面で、入学祝い金な



佐藤史人 議員

どの施策をとっていく。子育て支援は、子どもの自立を支えていく観点で、「子育て支援」であると教育委員会とはとらえている。家庭の経済的な格差が学力の格差につながるという指摘も一方にある。

小学校における算数の補習授業や指導の実施。子どもたちの生活支援としての学校外での居場所づくりと学習生活面も含めた相談体制を地域のかたがたが教育サポーターとして参加できる施策も進めていきたい。

学ぶ意欲のある子ども、能力のある子どもの支援のために、町の奨学金制度を金額や返済期間も含め充実してきた。

どの施策をとっていく。子育て支援は、子どもの自立を支えていく観点で、「子育て支援」であると教育委員会とはとらえている。家庭の経済的な格差が学力の格差につながるという指摘も一方にある。

(問) 保護者への子育てに関する悩み相談などの支援は。

(教育長) まつかわ大学の子育てに関する講演に参加される方は問題意識をもたれているので悩みや不安は、解消されている。保育園の保護者対象のアンケートでは、少しの時間でもよいので保育園の先生と話したいという方が多かった。学校や保育園が十二分にそれに応えられる体制にな

いが、場所、機会づくりを職員の研修も含めて実施していく。

不適応の子どもたちの保護者のかたがたとの会も開催しており継続するなかで、保護者の思いを受けとめられ先に進めるような支援

をする。

(問) 子育て支援の現場である職場環境は。

(こども課長) 保育士などの職場環境改善は都市部の賃金体系と比較し賃金の改定で引き上げを実施する。12月の定例会で条例改正で臨時職員についても育児・介護休暇が取得できるようになり、既に休暇中の職員もいる。

未満児・延長保育など状況によっては、休憩時間も交代しながら確保できる体制になりつつある。

(要望) 「文科省が次の学習指導要領がめざす」『主体的・対話的で深い学び』について、教員11名が、「教員研究センターで、授業をどう工夫し、発信するか、模索が続く」という新聞記事が載ったが、その課題についても子育て支援の見地からも議論していただき

施策に生かして欲しい。

(問) 町の学びの拠点である「えみりあ」は学習の場としての支援体制は十分か。

(生涯学習課長) 公民館関係職員、生涯学習、男女共同参画含めて町民体育館が一体となり職員間の意思疎通や情報交換がしやすくなった。町民の学習を支える視点から職員のスキルアップをしていく必要性は感じている。

(問) 「地域デビュー」ということが話題にな

っている。U・イターで町に来た方が、公民館活動やイベントに参加できる機会については。

(生涯学習課長) 公民館研究集会の中でも同様な意見がでた。イターの方が地域に駆け込むチャンスともとらえている。自主講座を開くなかでその輪を広げていく支援はしたい。※答弁の部分の「子育て支援」は、子どもの自立的な活動支援という意味。



自主的活動をする子どもたち

問 核となる自治会活動の支援は

答 重要性を考え支援体制の充実を図る

〔問〕自治会活動の現状把握の一步としてアンケート実施されたことに対して敬意を払う。行政は自治会と連携なくして諸事業の推進が不可能であると考え、もともと自治会サイドに立ち支援はできないか。まちづくり社会活動費の充実を図ることを提案するので検討を。

〔町長〕自治会という組織は地縁団体ではあるが地域づくりのなかでこの組織の役割が非常に重要であると認識している。加入していただけない方がいるのも事実である。引続き加



中平文夫 議員



自治会サイドに立った支援を

問 情報発信のメディア活用方法は

答 新しいニーズもあり更新方法などを検討

〔問〕松川を発信する基盤はチャンネルユーとHPが主力、特にHPはメンテナンスが重要、鮮度のよい情報発信が求められる。松川町を判断する情報が現状では十分反映されず機能していると思えない。各課で行うメンテナンス方式では職員の仕事の負担増となつて無理が生じる。今後は観光局（仮称）も含めて統一的な管理する必要がある。再考を要す。

〔まちづくり政策課長〕高度情報化社会に対応し地域振興に寄与する組織としてチャンネルユーは株式化した。HP作成当初になつたスマホ検索が主流となつてい

る。現在のHPをそのままスマホで閲覧するには画面も小さく見づらい。新人職員を中心にHPの操作研究会を開催しているが、職員に新鮮な情報を常に提供する意識がなければ変わるものではない。将来の町の住民候補者となる人々をも視野に入れ、松川町の

もっと鮮度のある発信を



問 人口減少社会の行政サービスを問う

答 低下につながらないように努める

(問) 町は第5次総合計画の基本方針に地域の絆と力を育み安全安心のまちづくりとされている。人口減少、高齢化が進むなか、今の地域活動維持が懸念されるが町長の考えは。

(町長) 住民活動を大事にした考えを基本に努める。

年少人口が5年間で2・7%余りの減少は大きく注視しなければならぬ。子育て環境の充実や若者定住促進を図る必要がある。地域コミュニティなど今後どう維持していくべ

きかが課題であるが住民活動を大事にして、標準的な財政規模も考慮し人口減が行政サービス低下にならないよう努めていく。

(問) 今後、自治会再編の取り組みが必要と思うが。

持続可能な行政運営に効率、効果、コストより進める必要があると考えるが、行政指導の下で自治会組織の再編成に向けた取り組みはできないか。

(町長) 住民の気持ちはさまざまであるが再編成問題はしっかり受け止め研究していく。現段階で言明できないが、住民生活に重きをおいた行政運営を図ってきたい。また効率、効果、コスト面では民間と違

い費用効果が数字では表れないところがある

がしっかりと把握していく必要がある。
(まちづくり政策課長) 相談、話し合いは積極的に対応する。
現在自治会数は72あるが、最も小自治会は

戸数が一桁、大自治会は戸数で三桁となっている。まずは地域住民がどう考えているかが大切だと思う。

問 職員の働き場での生きがいづくりは

答 女性管理職へ登用を前向きに

(問) 女性管理職の登用についての考えは。

女性活躍の場として高齢者や子育て施策として女性特有の感性を活かした施策などが望まれる。

(総務課長) 課長職を31年度までに1名増員、係長職25%以上目指す。女性活躍推進法が27年9月に制定された。これは地方公共団体の長は特定事業主行動計画として28年4月に計画を制定した。

(副町長) 底上げを考えていきたい。

(問) 業務拡大により長時間労働や過労死が後をたない現実が各地区で報道されている。精神的不調者の職場対応は万全か。

(総務課長) 27年12月の労働安全衛生法に基づいて、ストレスチェックが義務化された。当町ではカウンセリング、職場衛生委員会での心の健康づくり、労務管理士の設置などによりさまざまな研修、ケアに努めた対応を図っている。

男性、女性の区別はつけていない。昇任試験により判断し登用しているのが現状だ。能力ある方がたくさんいるのに女性のエントリがないのが残念。



行政サービスの拠点

火災と災害に強い地域力のあるまちは

自主防災の水平展開は大切だ

問 いっ起ることもしれない災害は住民にとつて不安の一つである。先般の新潟火災はあつ

という間に広がり糸魚川市駅北大火として災害に位置づけられている。松川町においても地震はもとより土砂崩れ、河川の氾濫など、想定される災害はいくつもあ

る。実態に即した防災体制の確立として地域防災計画の見直しは随時おこなわれているのか。

答 現在の防災計画につきましては、平成12年に策定し、その後、二度の見直しをかけている。現在の防災体制については、平成25年に全面改正を行った、見直しをかけたものに基づいて防災訓練を行っている。平成28年度は防災計画については国土交通省に協力いただき着手した。

大雨による洪水の水位の変化、情報を得た

の、二度の見直しを町は防災対策本部の立ち上げをどのタイミングで行うか。避難勧告を時系列で一覧表にしている。

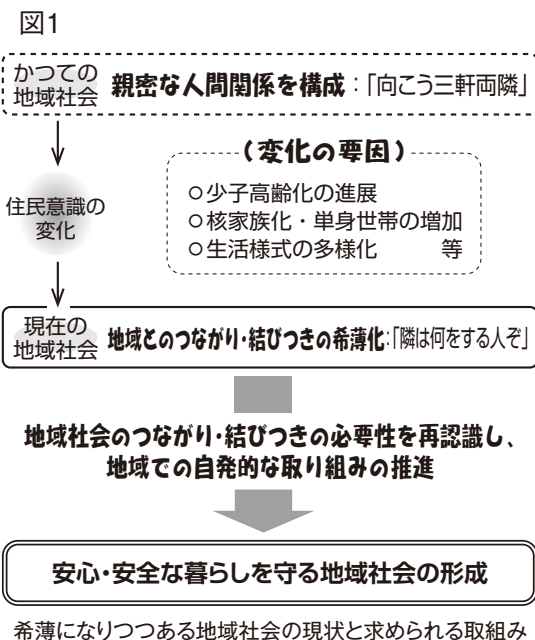
国や県に支援を要望していつて何とか直近の震災などの状況を入れた計画にできるような働きかけていきたい。

問 平成25年6月の災害

国や県に支援を要望していつて何とか直近の震災などの状況を入れた計画にできるような働きかけていきたい。



米山郁子 議員



害対策基本法の一部改正により、高齢者、障がい者、乳幼児などの防災施策において特に配慮を要する方のうち、災害発生時の避難などに特に支援を要する方の名簿の作成を義務付けることなどが規定されている、名簿の把握と台帳はできているのか。

答 要援護者の避難、支援については保健福祉課で名簿の把握を行っている。介護保険の認定を行う際に交付される、ひまわりタクシー券の利用者と要援護者が重なることから把握できる。

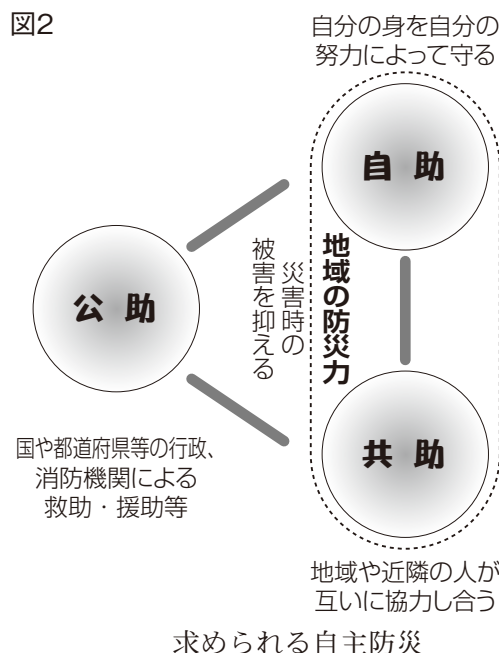
介護申請と同時に要援護者の登録申請をお願いしている。避難をされたときにならなくて家の間取りまで把握している。

現在の名簿は平成29年の3月10日現在で対象者1605人に対して登録が310人である。

災害時に役立ちそうな資格、たとえば看護師の免許があるとかも把握していきたい。

問 災害時には過去の経験から住民自身が協力して自分たちの身を守る「共助」が防災の要であり日頃から地域において防災マニユアルを定めた確に活動できることが大切であるが自治会によって防災対策の温度差がある。今後どのように標準化し自主防災に取り組んでいくのか。

答 進んでいる自治会では自主防災の会議に行くと、手を挙げて防災機材は何をそろえればいいのかという質問がある。自治会での防災会議を開いて周知をさせていく、標準化ではないが、水平展開を図っていくこれは非常に大切なことだと受けとめている。



る。

答 平成27年度に一度行っている、二つの自治会がこういう組織の持ち方をしていくということでも事例発表をした。

問 進んでいる自治会では自主防災の会議に行くと、手を挙げて防災機材は何をそろえればいいのかという質問がある。自治会での防災会議を開いて周知をさせていく、標準化ではないが、水平展開を図っていくこれは非常に大切なことだと受けとめている。

国や県に支援を要望していつて何とか直近の震災などの状況を入れた計画にできるような働きかけていきたい。

大雨による洪水の水位の変化、情報を得た

の、二度の見直しを町は防災対策本部の立ち上げをどのタイミングで行うか。避難勧告を時系列で一覧表にしている。

国や県に支援を要望していつて何とか直近の震災などの状況を入れた計画にできるような働きかけていきたい。

問 認知症予防対策と在宅介護支援は

答 認知症は早期発見、早期治療が大事

〔問〕 認知症はどうせ治らない病気だから医療機関に行っても仕方ない。これは誤った考えだと思う。障がいの軽いうちに後見人を自分で決めておく。(任意)後見制度などの準備や手配をしておけば、認知症であっても自分らしい生き方を全うすることが、可能だと思う。早期発見と在宅支援の医療と介護の両面で支える体制づくりはどのようにされているのか。

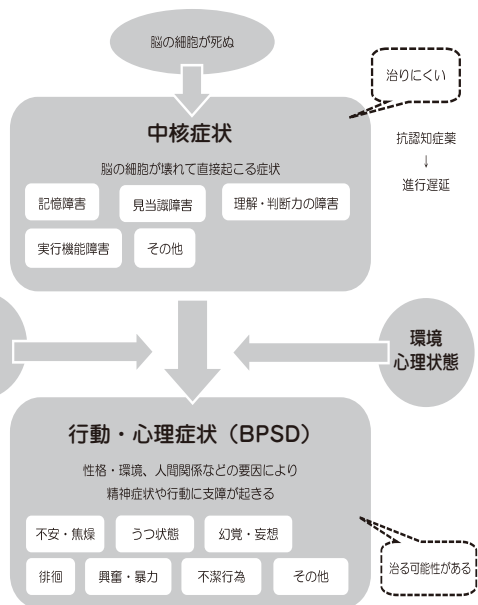


菅沼一弘 議員

〔町長〕 認知症にあつては介護予防、健康予防災害予防の要望を考え

ているなかで、高齢になつても社会とのかかわり、地域とのかかわりを、可能な限りつづけることが大切である。介護認定をできるだけ抑えていくことにつながると思う。認知症対策は重要であり取り組んでいる。

〔保健福祉課長〕 地域とのかかわりや早期発見が非常に大事であり、町で力を入れている。初期集中支援事業として、オレンジ推進委員を配置し、窓口の設置や地域での啓発活動なども行っている。先日行われた認知症サポート講習会ではオレンジサポーター受講者が1167人に達した。



認知症の症状 (中核症状と行動・心理症状)

問 放置自転車についての対策は

答 駐輪場の整備や草刈り・環境美化にも協力を

〔問〕 伊那大島駅の自転車置き場の放置自転車は、松川町、中川村、大鹿村の学生さんで、もう卒業してしまい要らなくなつて放棄された不法駐輪車であると思う。放置自転車の措置についてどのようなことを考えているか。

〔産業観光課長〕 駅舎の南側に駐輪場がある。自転車、バイク等を使って通勤通学をする皆さんのために真ん中合わせの四列で収容台数72台になる駐輪場となっている。送迎車両駐車場を含め一体的にJR東海から町が年額35万6000円という金額で貸借をしている状況です。

としていただいている状況です。先日、長期間にわたり放置された自転車がい11台あり、利用者みなさんに迷惑をかけている。現在自転車の処分については個人の所有物を勝手に処分することはできない。

いので条例などの制度が必要であり難しところであるが今後は検討していく必要がある。駐輪場の整備や草刈りにおいてはシルバーやボランティアの方たちの協力を得て実施している。



伊那大島駅の放置された自転車

中川村・大鹿村には、賃借料の一部を負担金

いっばん質問

問 英語教育の現状と今後の進め方をどうするか

答 学習指導要領に沿って外国語教育を進めていく

(問) 2年前9月議会で英語教育の質問をした。早期教育にはあまり前向きではないとの答弁であった。リニア新時代を10年後にまた3年後の東京五輪、コスト

る。小学校で英語が教科として導入される。新指導要領は5年生から3・4年生に2022年から2020年に前倒しとする。急速に進むグローバル化に対応し国際社会でも活躍できる人材の育成を目的としている。新学習指導要領の導入についての見解は。

て2018年度から試験的先行実施をしていきたい。

(問) 将来は水と緑と果物と英語の町松川にしたらどうか。

(教育長) 長野県でも国の特区制度を使って低学年から英語教育をしているところもある。軽井沢町、下諏訪町で、学習指導要領外の学習として展開しているが、町を挙げてということはいさしかり考えていかなくてはならない。

(教育長) 流れとしては2020年のオリンピック開催ということも背景にある。学習指導要領に沿って外国語教育英語教育を進めていく立場である。学級担任が外国語指導をするわけで不十分であり専科教員やアシスタント、ALTの配置が必要となる。教員の確保、時間割の設定など踏まえ



間瀬重男 議員

通訳を交えてのコスタリカセミナー



通訳を交えてのコスタリカセミナー

問 小中学校へのエアコンの設置整備を

答 中学校給食棟完成後に計画していきたい

(問) 新年度当初予算に保育園に3000万円のエアコン設置費が計上された。名子中央保育園にはすでに新築に伴い設置されているが、未設置の全保育園に設置されることで保育園児の保育環境の向上で喜ばしい。これまでに小中学校へのエアコン設置の要望もしてきたが、答弁では財源のこともあるが、多少の暑さに我慢すること

(こども課長) 現在小中学校へのエアコン整備の計画はないが29年度食棟の完成後に計画し子供たちの健康、学力

の向上を考えるなかで検討協議して中学校給食棟の完成後に計画していきたい。

があつた。地球温暖化のすすむなかで、家庭や事業所、役場庁舎に設置されている。近隣町村の学校でも設置整備が進んでおり教育環境と学力向上のために重要と考えるが整備計画の考えは。



教育環境と学力向上のため早期設置を

答 今、認識をした。答弁は控える

是非について昨年の12月議会で問うた。また法的にも問題ありではないかとも指摘をした回答を。

（問）会社の立場ではその通りだが町の町長が兼務するのであれば町で議論するべきではと聞いているのだ。

（町長） どういうことか
今しっかりと認識した。
今ここでそうしますと

いただいた。取締役会の中で決定していく案件。

町長が社長であつた方が都合が良いに決まつている。判断は取締役

会ではなく町民が行うべきでは。

(町長) チャンネルユー
は株式会社、取締役が



締役会では出なかつた
やはり取締役会の意見を聞いて判断していく。

（問）そのような答弁だと繰り返すになってしまふ。町の代表である

地方自治法第142条
では兼務を禁止してい
るが、括弧書きにある

当該地方公共団体が出資している法人で政令で定めるものは、当該



いつまでにやる、決断できない町長？

29年度をめどに方向性を出していく

禁止規定の緩和とされているが、平成15年の東京高裁の判例で地方公共団体が直接行うことも考えられる事業を代わりに行うものに適用除外は認めたもの。チャンネルユーはこの除外に当てはまる公益

事業を主体とした企業とは考えにくい。視聴料を主収入として経営し加入者のみへのサービスで公益事業と言えるか。町は1000万円以上の請負契約をしている。町長兼務、法的にもいかなものか。

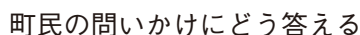
(問) 町長2期目も半分終わって、もう6年

るからこそ町は決断し
リードすべきでは。

が経過した。町長が議員時代にも質問していた行政改革。いつまでもにやると言わない町

（町長）誰が町長になつてもできる職場を作つていきたいというのは私の夢。波紋を呼ぶ石

を投げる行政は就任時の私の希望。難しい判断も町長の責任。非常に重く受けとめ、今後にも進んで参りたい。



部奈との出会い

部奈 小田切 勝

この町に暮らして1年半が経ちます。正直この町というより部奈に暮らしているという気持ち強いですが、私と妻とお腹の赤ちゃんは、「コーヒー屋」をやるつもりで南信を移転先に決めたもののツテもなく、ただ南信一帯の役場巡りをしては空き家の情報の少なさと、値段の高さに焦りを感じ始めていました。松川町役場もそのうちのひとつだったのですが、相談に乗ってもら

ているなかで「ベナテン」が空いているんじゃないか」と言うので、私達は「ベナテン」の意味も解らないまま山道を上り、初めて部奈に足を踏み入れました。そこはとても美しい集落で、外観しか見られなかったもののしつかりとした店舗でした。ベナテンは部奈店だったのです。

後日、部奈区長さんと副区長さんにお会いすることができ、私達の思いを伝えました。話はすぐに決まりました。区長さん、副区



長さんは本当に良くしてくれました。部奈の人達は気さくで個性豊かですぐに好きになりました。私が全くのイターンではなく、同じ伊那谷の宮田村出身だということも少しはあったのかもしれない。進学で大阪に出たきり卒業をしても田舎に帰りたくもなければ、就職もしたくないの思いで約10年間を過ごした後、独学で「コーヒー」について学び、31歳の時に松本市で最初の店を開きました。古着とコーヒーの店を3年9か月やって名古屋市に移転。名古屋ではコーヒー

だけの店を3年11か月開いた後、四日市に移転。ところがその前後にいわゆる運命の人に出会ってしまった。すぐに店を閉めて伊那谷に帰ってきました。本当はさらに西へ西へと移転を続けるつもりだったのですが、妻は信州が好きだったのです。よく訊かれますが家族3人（もうすぐ4人）この店だけで生計を立てています。成り立つかどうかはずっと実験中です。

今、欲しいものは薪を置く場所です。

I Have a Dream!

私には夢がある

未来に羽ばたく若者●子どもたち



松川ミニバスケットボールクラブ男子

ミニバスは「走る・投げる・跳ぶ」のバランスのとれたスポーツで、体を動かすことの楽しさを知りながら、仲間と協力することの素晴らしさが経験できます。2年生以上みんな、一緒にバスケットをしよう。（毎週金・日／町体にて）

タイトルの「I Have a Dream」は、ノーベル平和賞を受賞したキング牧師の演説の一節。職と自由を求めたこの有名な演説は、公民権運動に大きな影響を与え、未来を切り開いた。

部 報 広	
(編集委員会)	
(部長)	哲郎 黒澤
(副部長)	史人 佐藤
(部員)	郁子 米山
	宗明 熊谷
	勇治 坂本
	洋 大蔵
	八十治 川瀬
事務局	
	愛 佐藤
	詩乃 米山

あとがき 若草萌る暖かな季節となりました。多くの出会いがある新年度を迎え、心躍る日々を過ごしております。1月から3月は議会の内容が多岐にわたっていました。全てをお伝えできないのが残念です。議会の内容が分かり易いように簡潔な要約に努めました。いかがでしたか、議会だよりの応援をよろしくお願いします。（米山郁子）